

2023年10月16日

日本船主協会

シップリサイクルに関する国際フォーラムに参加

当協会は10月11日(火)～12日(水)にかけシンガポールで開催された TradeWinds Ship Recycling Forum に参加し、2025年6月のシップ・リサイクル条約（香港条約）発効を前に、IMO 事務局、関係国政府当局、船主協会、船社、解撤ヤード、船級協会、金融機関など幅広い関係者と意見交換を行いました。

船主の今後の課題に関するセッションでは、当協会岩佐久美子解撤幹事長（川崎汽船経営企画グループ 担当部長）がパネルディスカッションに参加し、条約採択から発効決定に至る間の当協会の主導的な取り組み（日本を含む関係国政府への批准への働きかけ、インド・バングラデシュ・中国を計10回以上訪問、認証ヤード利用の推奨等）を紹介した上で、現時点においては各関係者が2年後に迫った香港条約の確実な履行に精力を集中させ、ヤード整備等を進めることの重要性を強調、併せてEU シップリサイクル規則やバーゼル条約等、関連する国際条約・規則類との整合性確保が必要であることなどを訴えました。

その他のセッションでは、IHM（有害物質一覧表）整備が急務である点、各解撤国において継続的にヤードの改善を進める点、今後の状況変化に応じ、香港条約の内容も適時適切に見直す必要がある点、などに関し意見表明や紹介がありました。

以上



パネルで発言する岩佐幹事長（中央）



フォーラムの様様